平成30年度北海道ふるさと・水と土指導員名簿

資料1

平成30年5月 現在

No.	局名	市町村名	氏名	職業等	主な活動	推薦者	任期	備考
1	空知	雨竜町	外山　謙一	無職	農村景観保全・自然再生活動等	土地連	平成31年3月31日	
2	空知	沼田町	野　道夫	無職	自然再生活動等	町長	平成33年3月31日	
3	空知	岩見沢市	高柳　広幹	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成33年3月31日	
4	空知	岩見沢市	小西　泰子	農業	地域活動全般	市長	平成33年3月31日	
5	空知	栗山町	金丸　大輔	地方公務員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
6	石狩	石狩市	阿岸　哲広	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成33年3月31日	
7	後志	喜茂別町	遠城　諭史	会社員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
8	後志	喜茂別町	坂爪　洋介	農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
9	後志	喜茂別町	白川　博順	地方公務員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
10	後志	蘭越町	親谷　隆	農業	自然再生活動等	町長	平成33年3月31日	
11	胆振	厚真町	荒城　敏文	改良区職員	環境整備活動等	土地連	平成33年3月31日	
12	日高	浦河町	中村　勇市	農業	環境整備・農作業体験	土地連	平成33年3月31日	
13	日高	浦河町	中川　貢	団体職員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
14	日高	浦河町	以西　明美	自営業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
15	日高	新冠町	佐藤　剛	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
16	日高	日高町	田中　義光	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
17	渡島	知内町	佐藤　暁樹	住職	自然観察指導	町長	平成33年3月31日	
18	渡島	知内町	笠松　悦子	農業	農産物加工販売等	町長	平成33年3月31日	
19	渡島	八雲町	小林　石男	農業	地場産品加工直売	町長	平成33年3月31日	
20	渡島	八雲町	元山　美芳	農業	農産物加工販売等	町長	平成33年3月31日	
21	渡島	七飯町	田中　いずみ	無職	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
22	渡島	森町	宮崎　渉	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
23	桧山	厚沢部町	佐々木　俊司	会社役員	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
24	桧山	江差町	小笠原　明彦	団体嘱託員	農村景観・農作業体験指導	土地連	平成31年3月31日	
25	桧山	上ノ国町	吉見　俊彦	無職	農村環境・景観保全活動等	土地連	平成32年3月31日	
26	桧山	せたな町	富樫　一仁	農業	地域活動全般	土地連	平成31年3月31日	
27	上川	幌加内町	中村　雅義	農業	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
28	上川	南富良野町	岩永　かずえ	農業	農産物地産地消活動等	町長	平成32年3月31日	
29	上川	南富良野町	鷹嘴　充子	会社役員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
30	上川	当麻町	小野寺　孝一	無職	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
31	上川	上川町	佐藤　績	農業	地域活動全般	土地連	平成32年3月31日	
32	上川	上川町	辰巳　明美	農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
33	上川	鷹栖町	田阪　正実	農業	地域活動全般	土地連	平成32年3月31日	
34	上川	中富良野町	久保　照美	花卉卸し販売	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
35	留萌	苫前町	白府　勝二三	改良区職員	環境整備指導等	土地連	平成33年3月31日	
36	留萌	小平町	長澤　政之	地方公務員	自然体験指導	町長	平成31年3月31日	
37	留萌	小平町	髙野　幸子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
38	宗谷	稚内市	菊池　工	会社員	地域活動全般	市長	平成32年3月31日	
39	宗谷	豊富町	尾﨑　滋	団体職員	都市農村交流等	町長	平成32年3月31日	
40	ｵﾎｰﾂｸ	北見市	馬渕　陽子	農業	農産物直売等	市長	平成33年3月31日	
41	ｵﾎｰﾂｸ	北見市	黒須　倫子	農業	地域活動全般	土地連	平成33年3月31日	
42	ｵﾎｰﾂｸ	湧別町	久保　美恵子	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
43	ｵﾎｰﾂｸ	清里町	柳谷　亜紀子	農業	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
44	ｵﾎｰﾂｸ	興部町	仲元寺　恒平	団体職員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
45	ｵﾎｰﾂｸ	興部町	八木　実央	地方公務員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
46	ｵﾎｰﾂｸ	雄武町	石井　恭子	会社員	地域活動全般	町長	平成31年3月31日	
47	ｵﾎｰﾂｸ	津別町	佐野　多希子	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
48	ｵﾎｰﾂｸ	津別町	河本　純吾	農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
49	十勝	帯広市	伊藤　由紀子	酪農業	地域活動全般	市長	平成31年3月31日	
50	十勝	鹿追町	髙橋　貴子	会社員	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
51	十勝	浦幌町	高橋　徹	会社役員	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
52	釧路	鶴居村	服部　政人	団体職員	都市農村交流等	村長	平成31年3月31日	
53	釧路	鶴居村	水本　梨佳	酪農業	地域活動全般	村長	平成32年3月31日	
54	釧路	厚岸町	髙橋　美佐子	無職	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	
55	根室	別海町	水沼　和子	無職	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
56	根室	別海町	渡邊　広美	酪農業	地域活動全般	町長	平成33年3月31日	
57	根室	別海町	尾形　好枝	酪農業	地域活動全般	町長	平成32年3月31日	

平成30年度　北海道ふるさと・水と土指導員名簿

資料1

2018年5月

ブロック	委員（市町村）、◎会長、〇副会長、△幹事、アンダーラインは女性					
道央16名	空知5名	△外山　謙一	（雨竜町）	後志4名	遠城　諭史	（喜茂別町）
		野　　道夫	（沼田町）		坂爪　洋介	（喜茂別町）
		高柳　広幹	（岩見沢市）		白川　博順	（喜茂別町）
		小西　泰子	（岩見沢市）		親谷　　隆	（蘭越町）
		金丸　大輔	（栗山町）	石狩1名	〇阿岸　哲広	（石狩市）
	日高5名	中村　勇市	（浦河町）	胆振1名	荒城　敏文	（厚真町）
		中川　　貢	（浦河町）			
		以西　明美	（浦河町）			
		佐藤　　剛	（新冠町）			
		△田中　義光	（日高町）			
道南10名	渡島6名	佐藤　暁樹	（知内町）	桧山4名	佐々木俊司	（厚沢部町）
		笠松　悦子	（知内町）		小笠原明彦	（江差町）
		〇小林　石男	（八雲町）		△吉見　俊彦	（上ノ国町）
		元山　美芳	（八雲町）		富樫　一仁	（せたな町）
		田中いずみ	（七飯町）			
		△宮崎　　渉	（森町）			
道北13名	上川8名	中村　雅義	（幌加内町）	留萌3名	△白府勝二三	（苫前町）
		△岩永かずえ	（南富良野町）		長澤　政之	（小平町）
		鷹嘴　充子	（南富良野町）		髙野　幸子	（小平町）
		◎小野寺孝一	（当麻町）	宗谷2名	菊池　　工	（稚内市）
		田阪　正実	（鷹栖町）		尾﨑　　滋	（豊富町）
		佐藤　　績	（上川町）			
		辰巳　明美	（上川町）			
		久保　照美	（中富良野町）			
道東18名	ｵﾎｰﾂｸ9名	△馬渕　陽子	（北見市）	十勝3名	伊藤由紀子	（帯広市）
		黒須　倫子	（北見市）		髙橋　貴子	（鹿追町）
		久保美恵子	（湧別町）		△高橋　　徹	（浦幌町）
		柳谷亜紀子	（清里町）	釧路3名	〇服部　政人	（鶴居村）
		仲元寺恒平	（興部町）		水本　梨佳	（鶴居村）
		八木　実央	（興部町）		髙橋美佐子	（厚岸町）
		石井　恭子	（雄武町）	根室3名	水沼　和子	（別海町）
		河本　純吾	（津別町）		渡邊　広美	（別海町）
		佐野　多希子	（津別町）		尾形　好枝	（別海町）
計57名						

資料２

平成３０年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業計画

１　地域活動支援事業

（１）実践活動地区（５地区）

［Ｈ２８～］別海町別海地区、七飯町七飯地区、岩見沢市北村豊正地区

［Ｈ３０～］根室市厚床地区、上ノ国町上ノ国地区

（２）住民意識醸成地区

２　研修事業

(1)指導員の委嘱

(2)全国研修（東京都　例年１２～２月頃）

(3)地域づくり研修会（札幌　９月４日）

(4)現地研修（道央　１０月２３日～２４日）

(5)北海道ふるさと・水と土指導員会（札幌　１月２２日）

(6)北海道ふるさと・水と土指導員会幹事会（札幌　５月２３日、１月２２日）

(7)指導員ブロック別ミーティング（３ブロック）

①　道東ブロック　　７月２４日～２５日　釧路管内

②　道北ブロック　　８月１日～２日　上川管内

③　道央ブロック　　現地研修があるので実施しない

④　道南ブロック　１１月６日～７日　檜山管内

（８）情報誌「里づくり」の発行　２回（７月、２月）

（９）web 版「里づくり」の配信　毎月

３　推進事業

（１）委員会の開催　３回（５月、１２月、３月）

（２）活動地区との意見交換

（３）ホームページの更新

①　指導員プロフィール

②　事業紹介、委員会記録及び活動実績等の情報

（４）啓発普及

「新・田舎人」（96～99 号）の配布

H30.5

平成30年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
委員会		第1回							第2回			第3回
委員による意見交換会					別海地区	岩見沢市北村豊正地区	七飯地区				厚床地区	上ノ国地区
指導員関連事業	Web版里づくり（毎月）	第1回幹事会(札幌)5/23		情報誌里づくり17号 道東ﾌﾞﾛｯｸ7/24～25	道北ﾌﾞﾛｯｸ8/1～2	地域づくり研修会(札幌)9/4	現地研修(道央)10/23～24	道南ﾌﾞﾛｯｸ11/6～7	全国研修（東京）未定	第2回幹事会(札幌)1/22 指導員会(札幌)1/22	情報誌里づくり18号	
その他									農水省ふる水基金全国担当者会議			

H30年　現地研修行程（案）

＊バスは全て借上バス

１０月２３日（火）

8:45～9:00		9:50 ～ 13:10		14:00～15:00		16:00～17:３０
北海道庁 8:45集合 9:00出発	(50) バス	美登位創作の家 講演、ディスカッション、ランチミーティングなど 昼食･･･石狩産食材を使ったお弁当	(50) バス	岩見沢市北村大富 農産物直売所「北の大地マルシェ」見学（ふる水実施地区） 対応：小西指導員	(60) バス	雨煙別小学校 地域おこし協力隊員による活動報告等 対応：金丸指導員 １８：００～　宿泊・交流会

１０月２４日（水）

8:30		9:40～11:００		12:30
雨煙別小学校 出発	(40) バス	夕張市 夕張の現状視察、研修等 対応：夕張市　佐藤主幹	(90) バス	北海道庁 解散

資料　3

平成30年度　中山間ふるさと・水と土保全対策事業予算

（単位：千円）

	区　分	H30予算額	H30執行予定額		H29当初	H29実績
1	地域支援活動事業費	4,935	湧別地区	―	616	321
			別海地区	306	633	91
			七飯地区	1,631	1,786	815
			北村地区	1,246	596	789
			厚床地区	1,015	1,305	250
			上ノ国地区	453	―	-
			新規採択地区	284	―	-
	小　計			4,935	4,936	2,267
2	研修事業費	7,416	地域づくり研修会	1,800	1,674	902
			現地研修	1,414	1,085	918
			指導員会	1,200	1,195	985
			情報誌等	250	229	66
			全国研修会	600	562	458
			ﾌﾞﾛｯｸ別ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ	2,152	1,848	1,715
	小　計			7,416	6,593	5,043
3	推進事業費	1,445	委員会	475	491	255
			現地調査等	670	900	757
			啓発活動等	300	883	1,778
	小　計			1,445	2,274	2,790
合　　計		13,796		13,796	13,803	10,100

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	別海地区	活動団体名	チームNKB	
目的（ねらい）	項目（費用）	内容	金額（円）	積算根拠
親子イベント	使用料及び賃借料	ネットワーク作りの一環として、親子参加型イベントの開催。（2回）	19,000	加工体験施設、公民館
	需用費	▸会場使用料	40,000	食材、材料など
	役務費	▸材料費	1,000	ゴミ袋など
	報償費	▸講師謝金（2時間*14,000円*2名）	56,000	会社社長級
	旅費	▸講師旅費（旭川～別海 1泊2日、町内）	50,000	
	需用費	▸石鹸サンプル購入	10,000	
		小　計	176,000	
ハーブ・キッチン	使用料及び賃借料	ハーブを活用した調理加工体験の開催。（1回）	10,000	加工体験施設
	需用費	▸会場使用料	19,000	食材など
	役務費	▸材料費（食材、その他）	1,000	ゴミ袋など
		小　計	30,000	
ハーブ・ガーデン	需用費	ハーブ・ガーデンの整備。	25,000	苗 7種類75株
	需用費	▸苗	15,000	肥料、資材など
		▸園芸資材		
		小　計	40,000	
PRパンフレット	需用費	地区活動内容のPRパンフレットを作成し、周知を図る。	60,000	A4六つ折り@1000部
		▸印刷代		
		小　計	60,000	
合計			306,000	
			56,000	報償費
			50,000	旅費
			169,000	需用費
			2,000	役務費
			0	委託料
			29,000	使用料及び賃借料
費目内訳			306,000	

別記様式第4号

活 動 計 画

団体名	チームNKB	市町村名	別海町	地区名	別海地区
めざす姿	～ハーブのネットワークづくり～ 町内の酪農女性、特に道外出身の方は酪農業や家事に追われ、積極的な仲間づくりが進んでいない。また、町内の地域資源は乳製品に偏っており、農家個々が高付加価値商品を開発するには至っていない。このことから、新たな地域資源として、ハーブをテーマとした取り組みをすすめ、オール別海の女性の輪づくりを並行させながら、地域の活性化の糸口とする。				

活動の方向 No.	活動の内容	目標（数値・定性）	解決すべき課題
①	○酪農女性の仲間づくり 道外出身者の活動の場ということを視野に入れながら、酪農業を営む女性の活動母体（ネットワーク）づくりを進める	・定期的な交流会の開催（年2回）	・普段交流のない酪農女性の参加促進 ・魅力ある活動を継続することにより定期的な交流会の開催
②	○ネットワークの拡大 酪農女性を中心とした活動母体に、町内外の他団体（女性中心の団体を想定）を巻き込んでいく	・3年目には他団体との連携	・町内外の女性ネットワークの構築 ~~・特に関係が希薄な農業者と漁業者のつながり（ネットワーク）の構築~~
③	○ハーブなど新たな地域資源の発掘 寒冷地であり限られた地域資源に、新たな要素を生み出すよう、まずは冷涼地帯に適しているハーブを中心に、新たな地域資源を発掘していく	・各農家でハーブ栽培の普及	・栽培技術及び加工技術の習得
④	○別海の魅力発信 上記①～③の活動について、町内外を問わず広く発信していく	~~・機関紙の発行~~ ・PRパンフレット作成	・取組みの認知 ・参加者の拡大

3年間の活動プロセス	活動事項	関連No.	平成28年度 内容	平成28年度 予算額	平成28年度 年度目標	平成29年度 内容	平成29年度 予算額	平成29年度 年度目標	平成30年度 内容	平成30年度 予算額	平成30年度 年度目標	最終目標	適用事業
	仲間づくり	①	先進地視察	100千円	1回（鶴居村）	先進地視察	35 ~~296~~ 千円	1回（北見市 ~~道内~~）					ふるさと・水と土（地域活動支援事業）
		①②				~~親子イベント~~	~~51千円~~	~~1回/年~~	親子イベント	176 ~~200~~ 千円	2回/年		
		①②③							ハーブ・キッチン（調理加工体験）	30千円	1回/年		
	ハーブ栽培の取組み	③				~~栽培技術及び利活用講習会~~	~~120千円~~	~~1回/年~~					
		③	ハーブ・ガーデン（苗・肥料・ネット）	34千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン（苗・肥料・資材）	31 ~~72~~ 千円	メイン1ヶ所	ハーブ・ガーデン（苗・肥料・資材）	40 ~~150~~ 千円	メイン1ヶ所		
		②③	ハーブ・キッチン（加工技術研修）	24千円	1回（別海町）	ハーブ・キッチン（調理加工体験）	25 ~~61~~ 千円	1 ~~2~~回/年	~~ハーブ・キッチン（調理加工体験）~~	~~300千円~~	~~2回/年~~		
	情報発信	①④	農業士会での試供品配布		1回/年	農業士会~~、酪農女性のつどい~~での試供品配布		1 ~~2~~回/年	農業士会、酪農女性のつどい等での試供品配布		2回/年		
		②③							~~品評会（JA、JF、商工）の開催~~	~~50千円~~	~~1回/年~~		
		②④							PRパンフレット作成	60 ~~150~~ 千円	1回/年		
		②④							就農イベント・菊と緑への参加		1回/年		

関係者等	
別海町女性農業士会	事務局：別海町産業振興部農政課
別海酪農女性のつどい	事務局：別海町産業振興部農政課

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書（案）

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名				
活動地区名	七飯	活動団体名	七飯の食を考える会	
目的（ねらい）	項目（費用）	内容	金額（円）	積算根拠
軍川小学校親子で学ぶ 「食育・食材を思う」及び「ななえ食：歴史」 （メンバーに対する意識醸成）	（報償費） （旅費） （需用費） （使用料）	親子調理体験4hr	56,000	評論家　14,000円×4H
			0	地元講師
			65,000	親子料理体験食材等
			0	（町施設公用使用）
		小　計	121,000	
「ななえ食」 地域産地見学会 子供工場見学会 （1回/3箇所程度）	（使用料） （需用費）	地域勉強会 ・小学生	50,000	バス借上げ　50,000円×1回
			10,000	雑機材等10,000円×1回
		小　計	60,000	
「ななえ食」食育活動取りまとめ本作成 1,000部 カラー20P	（委託料）	ななえ食の活動を地域住民に広報活動	1,000,000	デザイン・イラスト含む
		小　計	1,000,000	
「ななえ食」のパネル作成 A1～15部	（委託料）	ななえ食レシピ及び会の活動紹介	450,000	デザイン・イラスト含む
		小　計	450,000	
		小　計	0	
		小　計	0	
合計			1,631,000	
			56,000	報償費
			0	旅費
			75,000	需用費
				役務費
			1,450,000	委託料
			50,000	使用料及び賃借料
費目内訳			1,631,000	

別記様式第４号

活 動 計 画

団体名	七飯の食を考える会	市町村名	七飯町	地区名	七飯
めざす姿	◇子どもから大人まで 「ななえ食」を学ぶ (七飯町は西洋農業発祥の地であり農作物(大根、人参等根菜類及び長ネギ)の収穫も道南では上位を占め、又緑豊かな森と湖の大沼地域は酪農(肉牛)や水産、まさしく食の宝庫である。) ・未来を担う子ども達及び地域住民に、「ななえ食」を再認識してもらい、産地見学・学習体験等を通して、ふるさとである七飯町に愛着を持つ環境を整える。 ・「ななえ食」を活用した産地見学会(収穫体験)や料理の開発、加工品等により七飯町の魅力を町内外に発信する。				

活動の方向	NO	活動の内容	目標 (数値・定性)	解決すべき課題
	①	◇「ななえ食」~~の地域資源~~に関する取組み ・食材(農林水産物)の再発見！ ・地域住民と生産者(地域講師)の交流・勉強会	・地域活動勉強会の開催 ・生産者(地元講師)の学習会の開催	・子どもから大人まで「ななえ食」の歴史を知り食を知る企画促進。 ・地域内全体での地域講師の発掘。 ・異世代交流方法(地域講師と子ども達)
	②	◇~~「ななえ食」の体験塾(仮称)~~「美味しいななえ探検隊」(食育・調理加工・木育等)に関する取組み ・子ども参加型(地域モデル校:軍川小学校) ・地域住民参加型	・産地見学会・体験学習会及び加工工場見学会の開催	・提供者、ボランティアなど運営問題、指導整備が必要。 ・他校での取組みをする学校等の増加 ・地域内での産地見学場所の選定
	③	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進	・会のメンバー増員 ・ボランティアスタッフ増加	-

３年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成２８年度 内容	平成２８年度 予算額	平成２８年度 年度目標	平成２９年度 内容	平成２９年度 予算額	平成２９年度 年度目標	平成３０年度 内容	平成３０年度 予算額	平成３０年度 年度目標	最終目標	適用事業
	「ななえ食」に関する取組み	①	地域活動勉強会	8.6 ~~15~~ 万円	1回/年 ~~(11月)~~(3月)	地域活動勉強会	8.0 ~~9.6~~ ~~万円~~	1回/年 (1月)	地域活動勉強会と 親子調理体験	29 ~~10~~ 万円	1回/年 (10月)	[ななえ食]の再認識及び、地元講師の発掘・登録する。	中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (地域活動支援事業)
									「ななえ食」 地域の産地見学(1回/3ヶ所程度)	6 ~~5~~ 万円	1回/年 (9月)		
	「美味しいななえ探検隊」に関する取組み	②	「ななえ食」 子ども 産地見学(2回/1ヶ所) ~~(1回/3ヶ所)~~	3.3 ~~10~~ 万円	2回/年 (6月、9月)	「ななえ食」 子ども 一汁三菜(ご飯、汁物)調理体験(和食)	11.6 ~~16.6~~ 万円	1回/年 (10月)	~~「ななえ食」 子ども工場見学(1回/3ヶ所)~~	0 ~~5~~ 万円	~~1回/年~~ ~~(9月)~~	産地見学、体験学習、調理加工を実施することにより、地元の生産者との触れ合い通して地元の良さを再認識する。	
			「ななえ食」 子ども フルコース調理体験(洋食)	28 ~~25~~ 万円	1回/年 10月	「ななえ食」 子ども 作付け～収穫～調理・加工	8.6 ~~24.6~~ 万円	3回/年 ~~1回/通年~~ 秋ﾚｼﾋﾟ含む	~~「ななえ食」の地元講師とりまとめパンフ作成~~	0 ~~25~~ 万円	~~3,000部カラー~~		
						「ななえ食」の料理講習会(ﾚｼﾋﾟ作成)会員を対象	17.3 ~~11.8~~ 万円	2回/年 (春・夏ﾚｼﾋﾟ)	「ななえ食」 食育活動とりまとめ本(冊子)作成	100 ~~120~~ 万円	1,000部20Pｶﾗｰ		
			~~「ななえ食」のレシピ作成~~	~~35~~ ~~万円~~	~~3,000部カラー~~				「ななえ食」のパネル作成	45 万円	15部(A1)		
			~~「ななえ食」のパネル作成~~	~~45~~ ~~万円~~	~~15部(A1)~~				~~「ななえ食」の体験地図産地パンフ作成~~	0 ~~30~~ 万円	~~3,000部カラー~~		
			「七飯の食を考える会」エプロン作成	13.1 万円									
	活動内容の地域への	③				「ななえ食」のレシピ及び会の活動紹介パンフ作成	36.0 ~~35~~ 万円	3、000部カラー				会の活動内容を地域住民に理解してもらうこと及び「ななえ食」の魅力をPRすること。	

関係者等	
七飯の食を考える会	代表 田中 いずみ、対馬 明子、種畑 智佐子、山田 あゆみ、吉田 静子、宮後 英子、藤吉 愛、和泉 詩織、牧野 成美
七飯町	農林水産課 TEL 0138-65-2511 FAX 0138-66-2054
七飯町立軍川小学校	TEL 0138-67-2333 FAX 0138-67-3591

＊「ななえ食」とは、七飯町で生産・加工されたすべての食材(農林畜水産物)

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	空知総合振興局			
活動地区名	岩見沢市北村豊正	活動団体名	豊正FAM協議会	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
①北の大地マルシエ直売事業 生産者組織「北の大地マルシエ」(空き店舗を活用した直売所)を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらうとともに、地域住民が集う場所としてのカフェ事業を開業し、地域の活性化を図る。	直売・加工・交流に係る勉強会(使用料及び貸借料)	先進的な直売・加工・消費者交流事例の視察及び現地での意見交換を通じて指導・助言を得る。	120,000	バス借り上げ料
				(石狩・空知方面視察40人乗)
	販売促進に係る資材(エプロン・のぼり等)の導入(需用費)	直売所の販売促進を円滑におこなうため、資材等を導入する。	335,700	需用費
				エプロン@4,500円*5枚
				のぼり@5,520円*10本
				横幕@4,000円*2枚
				看板@50,000円*3ケ
				ﾎﾟｲﾝﾄｶｰﾄﾞ@20円*3,000枚
				ｼﾞｬﾝﾊﾞｰ@8,000円*5枚
	PRポスター・チラシ作成(需用費)	北の大地マルシエ直売所のPRポスター、チラシを作成し、周知を図る。	260,000	需用費
				ﾎﾟｽﾀｰ130部 ﾁﾗｼ5,000部
				ﾎﾟｽﾀｰ(A2)@500円*30部
				ﾎﾟｽﾀｰ(A3)@450円*100部
				ﾁﾗｼ(A5)@40円*5,000部
		小　計	715,700	
②北の大地マルシエ加工事業 直売所に加工設備を併設し「塩ゆで落花生」の加工販売や地場農産物を活かした加工品及びカフェ開設に向けた研究を行う。	加工及び地場農産物を用いた料理講習会(報償費＋旅費＋需用費)	加工・地場農産物を用いた料理講習会を行い、加工及び料理技術の向上を図る。(講師:札幌市レストランシェフ)	140,000	報償費
				14,000円/人*5H*2回　2回/年
			5,440	旅費(札幌～岩見沢)
				1,360円*2*2回
			60,000	需用費(食材費)2回
				食材費:1,000円/人*30名*2回
	農産物等の販売に関する実技研修会(報償費＋旅費＋需用費)	消費者の関心を引く販売方法に関する実技研修を行い、販売スキルの向上を図る。(講師:札幌市マネキン協会のスタッフ)	100,000	報償費
				5,000円/人*5H*2人*2回
			10,880	旅費(札幌～岩見沢)
				1,360円*2*2人*2回
			60,000	需用費(食材費)2回
				材料費:1,000円/人＊30名*2回
		小　計	376,320	
③交流事業　～フットパス・落花生まつり 従前から実施している交流事業の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など、複合的な活動を進める。	集落づくり・交流推進に関する勉強会(報償費＋旅費)	農村集落の現状と交流等の活動に向けた勉強会を開催し、集落づくりや交流活動のノウハウを習得する。	44,000	報償費
				11,000円/人*4H　1回/年
			5,000	旅費(旭川～岩見沢)
				5,000円*1回
			5,000	使用料(会場借り上げ)
				5,000円(4H)
	PRチラシ作成(需用費)	フットパス交流会・落花生まつりの開催案内チラシを作成し、周知を図る。	100,000	需用費
				ﾁﾗｼ(A5)@100円*500部*2種類
		小　計	154,000	
		科目別	815,700	需用費
			21,320	旅費
			284,000	報償費
			125,000	使用料
合計			1,246,020	

別記様式第４号

活 動 計 画

団体名	豊正FAM協議会	市町村名	岩見沢市	地区名	岩見沢市北村豊正
めざす姿	～　人が訪れる地域づくりを通して、老後も元気に暮らす　～ 近年、高齢化に伴う離農や店舗の撤退などで過疎化が進行しつつある中、生産者組織「北の大地マルシェ」（空き店舗を活用した直売事業と落花生の加工事業を推進）を設立し、他地域から多くの人に訪れてもらえることで地域の活性化を図る。 また、「北の大地マルシェ」事業と並行し、従前から実施している交流事業（フットパスイベントや落花生まつり）の一層の充実を図り、更なる北村豊正ファンを獲得し、他地域や都市との交流、異業種交流、福祉団体との連携など複合的な活動を進めていく。				

活動の方向	NO	活動の内容	目標（数値・定性）	解決すべき課題
	①	北の大地マルシェ直売事業 ・6月上旬から11月上旬まで、JA空き店舗を借用した直売所運営 ・地域住民が集う場所としてのカフェの開業	＜初年度＞ 来場者　期間中900人(予定) 売上　　年間750千円(予定) ＜29以降＞ 前年度比10％増	・効率的な直売所運営が図れるよう経営ノウハウの習得 ・都市部に対するPRの実施等、効果的な販促活動 ・構成員の積極的な参画と出荷者の増加による品揃えの確保 ・カフェメニューの開発
	②	北の大地マルシェ加工事業 ・「塩ゆで落花生」加工販売 ・地場農産物を活かした加工品の研究	＜塩ゆで落花生加工販売＞ 加工品の品質の均一化 ＜加工品の研究＞ 加工品の開発　1品	＜塩ゆで落花生加工販売＞ ・加工技術の習得、向上と委託加工受入体制の確立 ＜加工品の研究＞ ・加工技術の習得、向上 ・加工品開発に係るパッケージデザイン等の情報収集
	③	交流事業　～　フットパス交流会・落花生まつり ・7月上旬にフットパス交流会、10月上旬に落花生まつりのイベントを開催し、地場農産物の料理を楽しみながら生産者と消費者や異業種と交流や福祉団体との連携を図る。 ・活動を集落全体に波及させ、多くの住民参加を促す。	運営方法等の具体的な取組手法の定着及び集落の様々な層の住民の参加	・参加対象を広げたいが参加者の参加しやすい体制が整備されていない。（バスの確保等） ・継続した活動につなげたい。 ・集落の維持・活性化に向けた効果を発揮させたい。

3年間の活動プロセス	活動事項	関連NO	平成28年度 内容	予算額	年度目標	平成29年度 内容	予算額	年度目標	平成30年度 内容	予算額	年度目標	最終目標	適用事業
	北の大地マルシェ直売事業	①② ①	先進地へのバス視察研修	90	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	100	1回/年開催	先進地へのバス視察研修	120	1回/年開催	地域の直売所として活動の安定を図る	
		①	販売促進に係る資材（エプロン・のぼり等）費	215	エプロン15枚・のぼり10本・横幕2枚	販売促進に係る資材（のぼり等）費	508	のぼり10本・横幕2枚等	販売促進に係る資材（のぼり等）費	336	のぼり10本・横幕2枚等		
		①	マルシェPRポスター・チラシ作成	86	100部作成 1,000部作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	260	130部作成 5,000部作成	マルシェPRポスター・チラシ作成	260	100部作成 3,000部作成		
		①							伝統野菜の栽培等	5	4品種		
	北の大地マルシェ加工事業	①② ①②③	加工販売に係るマーケティング研修	20	1回/年開催	加工・地場農産物を用いた料理講習会	205	2回/年開催	販売実技実習	171	1回/年開催	地場農産物のPRにつなげる	
		①②③	加工技術向上に係る研修	66	1回/年開催	販売に関する実技研修会	171	2回/年開催	加工技術向上に係る研修	205	1回/年開催		
		①②③											
	交流事業	③	コースの整備	71	案内看板の設置							地域のイベントとして定着させる	
		③	フットパス交流推進に係る研修	43	1回/年開催	集落づくり・交流に関する勉強会	54	1回/年開催	地域づくりに係る研修	54	1回/年開催		
		③	フットパスPRポスター・チラシ作成	83	50部作成 1,000部作成	フットパス・落花生まつりチラシ作成	100	各500部作成	フットパス・落花生まつりPRポスター・チラシ作成	100	500部作成		

関係者等			
	岩見沢市農政部農業基盤整備課	主事	木村　唯有　（連絡先　0126-23-4111）
	JAいわみざわ農業振興部門	次長	林　　真一　（連絡先　0126-22-6924）
	宮島沼水鳥・湿地センター	主任	牛山　克己　（連絡先　0126-66-5066）
	北海土地改良区水土里ネット推進室	室長	高柳　広幹　（連絡先　0126-22-2400）
	空知農業改良普及センター	普及員	越　浩一　（連絡先　0126-23-2900）

別記様式第2号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	根室振興局			
活動地区名	厚床	活動団体名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	
目的(ねらい)	項目(費用)	内容	金額(円)	積算根拠
戦略プラン作成に向けた地域住民の意識醸成	報償費	ワークショップ	88,000	◆報償費
				11,000円*4hr*2回
	旅費		101,000	◆旅費(札幌～根室)
				航空機,日帰り*2回
		小　計	189,000	
戦略プラン作成に向けた地域拠点の再確認 地域間及び世代間交流	報償費	防災キャンプ	248,000	◆報償費
				11,000円*4hr*2日
				5,000円*4hr*2日*4人
	旅費		310,000	◆旅費(札幌～根室)
				航空機,1泊2日*2回*5人
	需用費		100,000	◆需用費
				非常食40人分*2食
		小　計	658,000	
地域間及び世代間交流	使用料及び賃借料	交流会 ・パークゴルフ	6,000	◆使用料
				300円*20人
	使用料及び賃借料		2,000	◆賃借料
				100円*20人
		小　計	8,000	
コース整備を通じて、地域資源の再認識及び地域間交流	需用費	フットパスコース整備	160,000	◆需用費
				草刈機燃料代　10,000円
				長靴(PR用)　3,000円*30
				合羽(PR用)　2,000円*30
		小　計	160,000	
合計			1,015,000	
			336,000	報償費
			411,000	旅費
			260,000	需用費
			0	役務費
			0	委託料
			8,000	使用料及び賃借料
費目内訳			1,015,000	

別記様式第4号

活 動 計 画

団 体 名	厚床地域農村再生プロジェクト プロジェクトチーム	市町村名	根室市	地 区 名	厚床
めざす姿	地域資源を活かし、農商工連携を促進しながら、都市と地域の交流拠点づくりに取り組み、地域の活性化を図る				

活動の方向	No.	活動の内容	目標(数値・定性)	解決すべき課題
	①	◇厚床戦略プラン作成に関する取組み ・地域間及び世代間交流人口の増加 ・地域資源(魅力)の確認	・戦略プラン作成 ・防災キャンプ開催 ・自然学習会開催 ・フットパス整備 ・交流会開催 ・地域マップ作成 ・ワークショップ開催	・地域への活動内容の周知及び理解を得る ・農繁期の活動体制 ・関係機関との連携強化 ・役割分担の確率
	②	◇活動内容の地域への周知及び理解の促進	・SNS等を活用した情報発信 ・ワークショップ開催	・役割分担の確率

3年間の活動プロセス	活動事項	関連No.	平成 30 年度			平成 31 年度			平成 32 年度			最終目標	適用事業
			内 容	予算額(千円)	年度目標	内 容	予算額(千円)	年度目標	内 容	予算額(千円)	年度目標		
	厚床戦略プラン作成に関する取組み	①							戦略プラン作成	2,000	委託業務		中山間ふるさと・水と土保全対策事業
		①	防災キャンプ	658	1回	防災キャンプ	700	1回					
		①	自然学習会 (バードウォッチング)	－	1回	自然学習会 (巣箱作り、バードウォッチング)	50	2回	自然学習会 (巣箱作り、バードウォッチング)	50	2回		
		①	フットパスコース整備	160	1コース	フットパス看板設置	100	1コース					
		①	交流会(パークゴルフ、百人一首など)	8	2回	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10	2回	交流会(パークゴルフ、百人一首、食事会など)	10	2回		
		①							地域マップ作成	200	1千部		
		①②	ワークショップ	189	3回(内1回は防災キャンプ)	ワークショップ	189	3回(内1回は防災キャンプ)	ワークショップ	189	2回		
	活動内容の地域への周知及び理解の促進	②	SNS等での情報発信	－	随時	SNS等での情報発信	－	随時	SNS等での情報発信	－	随時		

関係者等	

別記様式第２号

地域活動支援事業に係る予算要求書

事業実施年度	平成30年度			
総合振興局等名	檜山振興局			
活動地区名	上ノ国	活動団体名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	
目的（ねらい）	項目（費目）	内容	金額	積算根拠
町民向けの食育活動	需用費	絹さやえんどう料理教室の開催	20,000	絹さや10kg×2000円
			40,000	海苔、具材等
			7,000	米20kg
			5,500	資料代（紙代、印刷代）
		小　計	72,500	
「さやえんどう料理」の開発、定着	需用費	「絹さやえんどう料理」の開発	50,000	絹さや5kg×2000円×５回
			100,000	１人当材料費2000円（チャオ９品分）×10名×５回
			5,500	資料代（紙代、印刷代）
		小　計	155,500	
活動体制の強化	需用費	農業者、関係機関及び地元商工観光業者との連携強化	20,000	絹さや10kg×2000円
			100,000	１人当材料費2000円（チャオ９品分）×50名
			5,500	資料代（紙代、印刷代）
		小計	125,500	
活動体制の強化	報償費	専門家による地域振興活動に関する助言	50,000	講演に係る費用
	旅費		50,000	
			100,000	
合　計			453,500	
		08_報償費	50,000	
		09_旅費	50,000	
		11_需用費	353,500	
		12_役務費		
		13_委託料		
		14_使用料及び貸借料		
費　目　計			453,500	

別記様式第４号

活動計画

団 体 名	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	市町村名	上ノ国町	地 区 名	上ノ国
め ざ す 姿	・「絹さやえんどう」を活用して、上ノ国町の「食」の魅力を地域内外に発信し、また地産地消を促進することで地域内経済を活発にして地域振興、産地の維持を図る。				

	No	活動の内容	目標（数値・定性）	解決すべき課題
活動の方向	①	町民の「絹さやえんどう」に対する関心を高める	・食育イベントの開催（年1回） ・「絹さやえんどう」に関係した情報の発信（随時）	・活動に必要な絹さやえんどうの確保。 ・絹さやえんどう消費の行事化。 ・町民の「絹さやえんどう」 に対する十分な理解。
	②	地元料理店と連携し「絹さや料理」を開発、定着を図る	・「絹さやえんどう料理」の開発 ・「絹さやえんどう料理」の定番メニュー化	・試作、定番メニュー化に必要な絹さやえんどうの確保。 ・地元料理店との「絹さやえんどう料理」の開発、郷土料理化。 ・「絹さやえんどう料理」を町民に対し提供する時期の検討。
	③	活動体制を強化する	・活動報告会の開催（年1回）	・生産者に対し「絹さやえんどう」による地域食文化の充実、地産地消による地域循環経済についての理解。
	④	「絹さやえんどう」地域内流通体制を構築する	・「絹さやえんどう」の販売場所の確保	・地区内販売用「絹さやえんどう」の確保、集荷体制。 ・販売場所の検討。 ・販売単価の設定。

3年間の活動プロセス	活動事項	関連No	平成30年度			平成31年度			平成32年度			最終目標	適用事業
			内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標	内容	予算額	年度目標		
	町民向けの食育活動	①	絹さやえんどう料理教室の開催	千円 72.5	1回／年(2月)	絹さやえんどう料理教室の開催	千円 100	1回／年(2月)	絹さやえんどう料理教室の開催	千円 100	1回／年(2月)	上ノ国町が「絹さやえんどう産地」であることの理解、「絹さやえんどう」の固定需要確保	中山間ふるさと・水と土保全対策事業(地域活動支援事業)
	「さやえんどう料理」の開発、定着	②	「絹さやえんどう料理」の開発	155.5	5回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」の開発	255.5	5回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」週間開催	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう料理」の郷土料理化	
	活動体制の強化	③	農業者、関係機関及び地元商工観光業者との連携強化	125.5	1回／年(3月)							持続性のある活動体制の確立	
			専門家による地域振興活動に関する助言	100	1回／年(3月)								
	「絹さやえんどう」地域内販売体制の構築	④				「絹さやえんどう」地域内販売の試行	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう」地域内販売の試行	100	1回／年(8-9月)	「絹さやえんどう」販売体制の確立	

関係者等		
	桧山南部サヤエンドウ生産組合企画班	代表　大口　勇　　連絡先
	上ノ国町	農林課農業林業グループ主幹　笠谷　将人　連絡先　0139－55－2311
	JA新函館厚沢部基幹支店	生産施設課調査役　出口　秀樹
	檜山農業改良普及センター	広域主査(高付加価値化)　深尾　伸一　(作物(稲))